



新型コロナウイルス感染症 事前の備えと対応

通所系
施設

宮城県新型コロナウイルス感染症対策介護ワーキンググループ

1 日頃から意識することが大切です！

- ・ **正しいマスクの使用**（サージカルor不織布マスクを使用し、**鼻と口をしっかりと覆う**）
- ・ **職員同士の会話でもマスクを着用・飲食時は会話しない**
- ・ **適切な換気の実施**
- ・ **食事中は利用者同士の距離を保つ**
- ・ **対面**になることを極力回避（側面，背面からの介助を意識）
- ・ **3密を回避**（換気の悪い密閉空間，多数が集まる密集場所，近距離で会話する密接場面）
- ・ **適時・適切な手洗い、手指消毒**
- ・ **目・鼻・口には触らない**（触る前は手指消毒を）
- ・ **職員やその同居者が体調不良の場合は出勤しない・させない**
- ・ **利用者及びその同居者も健康チェック**
- ・ **勤務体制の見直し**
- ・ **発生時を想定した勤務体制の構築**
- ・ **防護服等衛生資材の使用方法を確認**



～宮城県長寿社会政策課 クラスタにならないために ver.3～

2 事前の備えが大切です！

- 本人、家族と日中でも連絡がつく電話番号等のリストを作成し、定期的に更新する
- 代替サービスを提供すべき利用者のリストを予め作成し、定期的に更新する
- 濃厚接触者への訪問サービスを担当できる職員のリストを予め作成しておく
- 家族内感染を防ぐための基本的な知識を本人、家族に予め伝える
- 行動歴から接触者を洗い出す模擬訓練を実施する

3 発生したときの対応ポイント！

- 感染者と接触が疑われる人のリストを保健所に提出する
- 対策本部を設置する
- 情報公開、情報共有、メンタルヘルスへの対応を迅速に行う
- 自宅待機となった利用者、職員の健康観察を強化する
- 自宅待機となった利用者の介護ニーズを把握し、代替サービスを提供する
- 医療連携：PCR検査（利用者、職員）の実施は、保健所の指示を受けて行う